

泣いて、笑って、昭和の子育て 番外編1号/26.3.25

育児体験記がようやく完成し、多くの方の手元に届き始めています。全老連には、子育て支援センターや母親クラブ、保育園等、子育て関係の団体やサークルへの寄贈報告がファックスで市区町村老連から届いています。また、本書を読まれた方、掲載された方からのお便りも寄せられています。今後「番外編」では、こうしたお便りを紹介していきたいと考えています。

◆ラジオで紹介！

北海道老連、岡山県老連、熊本県老連では、地元ラジオ局での放送がまりました。既に放送が行われた熊本県では、体験記が掲載された西牟田節代さんと事務局担当者が出演。アナウンサーが体験記を朗読し、西牟田さんから当時の思いや応募の動機が語られました。体験記に登場するご息子には、これから本を送るそうです。

◆読者のたより

- ・時代がちがっても母が子をおもひ気持ちに変わりがない事が良くわかりました。
／福島県・NPO法人
- ・子育て中のお母さんに、あなたのおばあさん、お母さんの苦勞の歴史経過の中で今の自分があること。そして今、母として我が子にむきあっていくことの意味を思い、この本を紹介していきたいと思います。／滋賀県 64 歳・子育て支援センター
- ・私は昭和 48 年に長男を出産しましたが、母の世代の方達の育児体験を読ませていただき、育児とはどんなに世の中が進んでも根本は何も変わらないと思いました。
／長崎県 65 歳・学童指導員
- ・NHKの朝の連続ドラマ「ごちそうさん」。そしてこの度の震災3年目の東北。厳しい戦中、戦後の様子が重なって涙が流れました。／秋田県 80 歳・会員
- ・子供に何も残すことができなかつたけど、この本を残すことができました。/掲載者
- ・本を読んだ知り合いから、「(体験記に出てくる) おばあちゃんの言葉がいいね」と言われます。子供たちも立派に成長し、医師になったご息子は待合室に本を置いてあるそうです。/掲載者

※今後、「番外編」は本会ホームページ「おばあちゃん世代の育児体験記」のコーナーに掲載します。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

〒100-8917 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

電話：03-3581-5658 /ホームページ <http://www.zenrouren.com/>